

# 2020年3月期 決算説明資料

証券コード：5332

2020. 4. 30

## ハイライト

### 増収減益

#### グローバル住設事業（日本）：増収増益

- ◆新型コロナウイルス感染症・消費増税反動減の影響は受けたものの、上期の消費増税駆け込み、下期の価格改定効果によりリモデル、新築ともに増収増益。

#### グローバル住設事業（海外）：増収減益

- ◆中国は一線都市の市況底打ち、二、三線都市への取り組み強化により増収も、上期業績・為替影響で減益。
- ◆アジア・オセアニア、米州は増収減益。

#### 新領域事業：減収赤字

- ◆セラミック事業は、市況悪化の影響で減収赤字。

# 2019年度決算

## P/L概要

単位：億円

	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)	修正計画差 (計画比)	
				為替 影響額	為替影響除 (前年比)
売上高	5,861	5,965	+104 (+2%)	▲55	+159 (+3%)
営業利益 【営業利益率】	402 【6.9%】	368 【6.2%】	▲34 (▲8%)	▲9	▲25 (▲6%)
経常利益	431	361	▲70 (▲16%)	▲24	▲46 (▲11%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	324	236	▲88 (▲27%)	▲21	▲66 (▲21%)
ROA	7.1%	6.3%	▲0.8pt		6.7%
ROE	9.6%	7.0%	▲2.6pt		7.7%

## ■為替レート

	2018年度				2019年度				2019年度 修正計画※
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
1ドル	108.2円	109.1円	111.4円	112.9円	110.2円	109.9円	107.4円	108.8円	106.0円
1元	17.0円	17.1円	16.4円	16.3円	16.3円	16.1円	15.3円	15.4円	15.0円
1ユーロ	133.1円	130.0円	129.6円	128.8円	125.2円	123.5円	119.4円	120.3円	119.4円

※2019年10月31日  
修正発表ベース

# 2019年度決算

## セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)	為替影響	
				為替 影響額	為替影響除 (前年比)
住設事業 (日本)	4,251	4,361	+110 (+3%)		+110 (+3%)
住設事業 (海外)	1,305	1,359	+54 (+4%)	▲54	+108 (+8%)
新領域	302	242	▲60 (▲20%)	▲1	▲59 (▲19%)
その他	3	3	+0		+0
合計	5,861	5,965	+104 (+2%)	▲55	+159 (+3%)

修正計画	修正計画差 (計画比)
4,478	▲117 (▲3%)
1,360	▲1 (▲0%)
230	+12 (+5%)
2	+1
6,070	▲105 (▲2%)

<営業利益>	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)	為替影響	
				為替 影響額	為替影響除 (前年比)
住設事業 (日本)	244	253	+9 (+4%)		+9 (+4%)
住設事業 (海外)	183	153	▲31 (▲17%)	▲9	▲22 (▲12%)
新領域	10	▲4	▲14	▲0	▲14
その他	▲36	▲34	+2		+2
合計	402	368	▲34 (▲8%)	▲9	▲25 (▲6%)

修正計画	修正計画差 (計画比)
285	▲32 (▲11%)
157	▲4 (▲3%)
▲16	+12
▲36	+2
390	▲22 (▲6%)

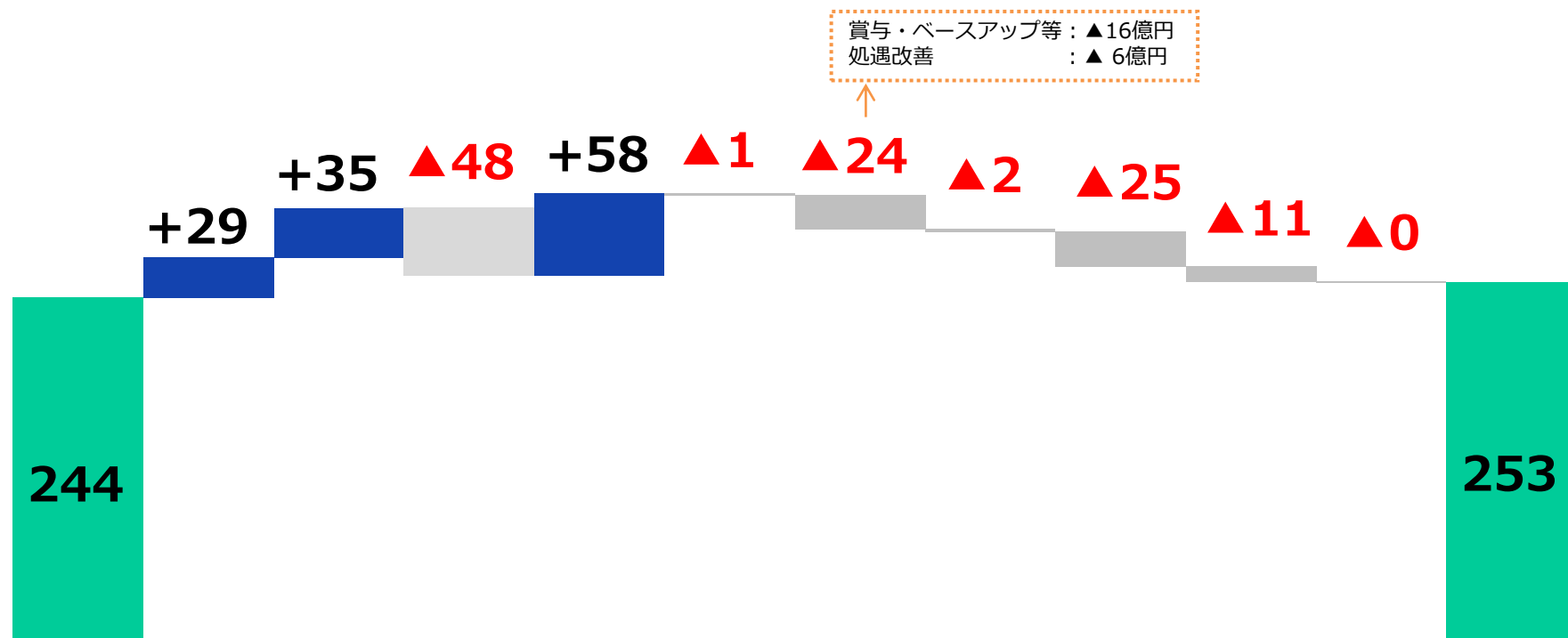
日本は増収増益。海外は増収減益。新領域は減収赤字。  
新型コロナウイルス感染症拡大の影響は売上高▲93億円、営業利益▲49億円。

# 2019年度決算

## グローバル住設事業（日本）

### 営業利益の増減要因（前年差異+9億円の内訳）

単位：億円



2018年度 営業利益 売上増減／商品構成差 価格改定効果 ITカウル影響 ITリダクション 原材料の影響 労務費の増減 減価償却費 開発・生産投資 販売強化投資 その他 2019年度 営業利益

修正計画差	▲16	+15	▲48	▲4	+4	+5	+1	▲4	+7	+8	▲32
-------	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	-----

# 2019年度決算

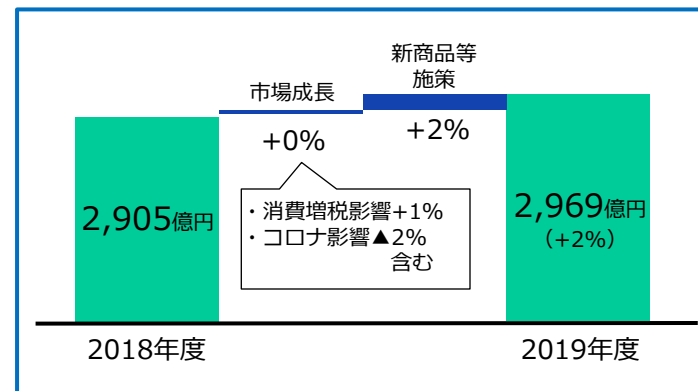
## グローバル住設事業（日本）

### 需要別実績

単位：億円

#### <リモデル>

	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)
売上高	2,905	2,969	+64 (+2%)
営業利益	213	220	+7 (+3%)
営業利益率	7%	7%	+0pt



#### <新築>

	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)
売上高	1,346	1,392	+45 (+3%)
営業利益	31	33	+2 (+6%)
営業利益率	2%	2%	+0pt

【需要】	2019年度	着工
	住宅	▲3%

【売上高】	2019年度	合計
	住宅	▲0%
	非住宅	+7%

リモデル、新築ともに増収増益。

# 2019年度決算

## グローバル住設事業（日本）

### 商品別実績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)
衛生陶器	901	941	+40 (+4%)	73	69	▲4 (▲6%)
ウォシュレット	959	945	▲14 (▲1%)	131	107	▲24 (▲18%)
水栓機器	901	916	+15 (+2%)	44	62	+18 (+42%)
浴室	975	1,034	+60 (+6%)	14	21	+7 (+47%)
キッチン・洗面	434	447	+12 (+3%)	▲10	▲3	+7
その他	81	78	▲3 (▲4%)	▲9	▲4	+5
合計	4,251	4,361	+110 (+3%)	244	253	+9 (+4%)

ウォシュレットを除き増収。

衛生陶器・ウォシュレットは新型コロナウイルス感染症の影響で減益。

# 2019年度決算

## グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	635	670	+35 (+5%)	+74 (+12%)
アジア	318	326	+8 (+3%)	+16 (+5%)
米州	313	325	+12 (+4%)	+16 (+5%)
欧州	38	38	▲0 (▲1%)	+2 (+6%)
合計	1,305	1,359	+54 (+4%)	+108 (+8%)

営業利益	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	124	102	▲22 (▲18%)	▲16 (▲13%)
アジア	55	54	▲1 (▲1%)	+2 (+4%)
米州	16	6	▲10 (▲61%)	▲10 (▲60%)
欧州	▲11	▲10	+2	+1
合計	183	153	▲31 (▲17%)	▲22 (▲12%)

グローバル住設事業（海外）で増収減益。



# 2019年度決算

## 現地グループ会社の業績（中国）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万円

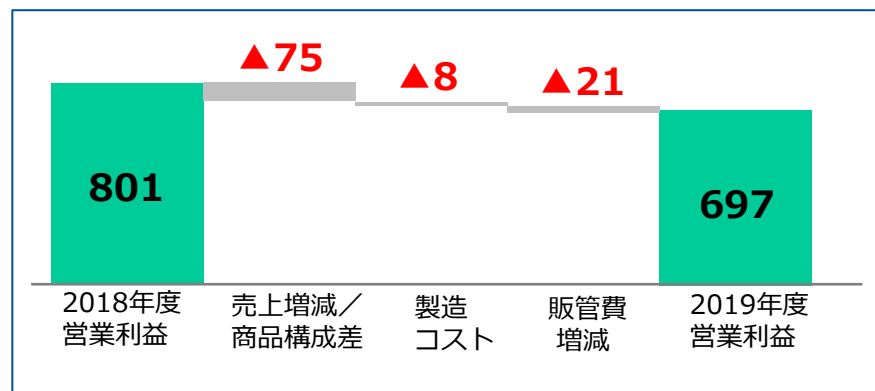
	2018年度	2019年度	前年差	前年比
売上高	3,782	4,234	+452	+12%
営業利益	801	697	▲104	▲13%
営業利益率	21%	16%	▲5pt	-

第1四半期（1月～3月）の売上高伸長率は前年同期比▲33%。  
第2四半期（4月～6月）は、新型コロナウイルス感染症の影響により減収の見込。

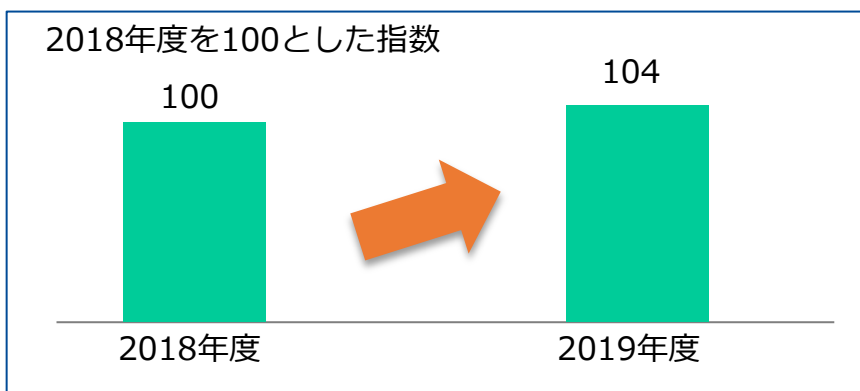
為替レート	2018年度4Q	2019年度4Q
1元	16.3円	15.4円

### 営業利益の増減要因

単位：百万円



### ウォシュレットの販売台数伸長



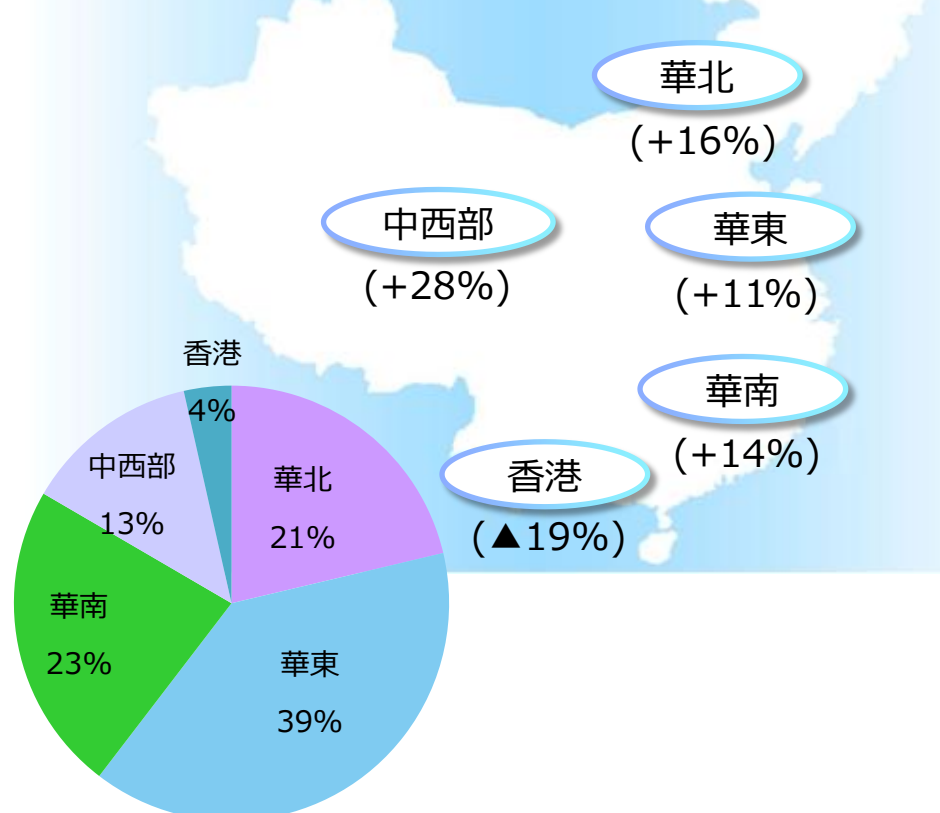
市況の底打ち・二、三線都市への取り組み強化により増収も、商品構成の悪化、販売管理費増により減益。

# 2019年度決算

## 現地グループ会社の業績（中国）

### ■ 地域別の売上高伸長率

中国事業計：+12%(現地通貨ベース)

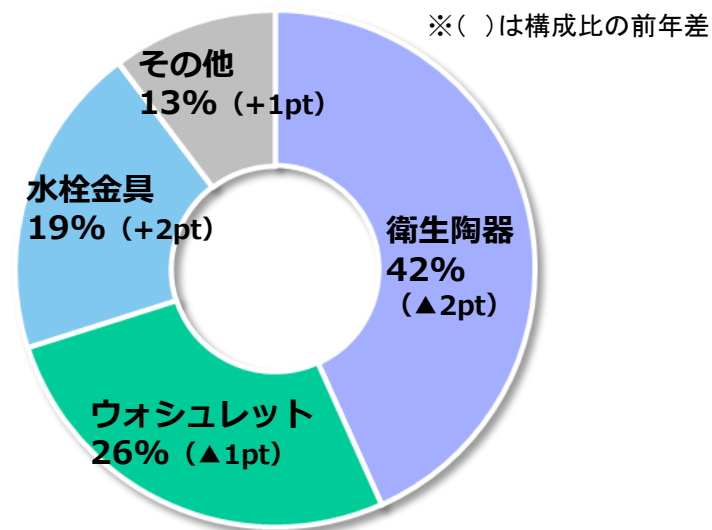


### ■ 地域別の売上高構成比

### ■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+7%
ウォシュレット	+6%
水栓金具	+30%

### ■ 売上高に占める商品構成比



華東は第3四半期以降回復に転じ通期で増収、  
中西部は二線都市攻略が奏功し、大幅増収となった。全商品で増収。

# 2019年度決算

## 現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

エリア別 売上高構成比	台湾 40%	ベトナム 31%	その他 29%
----------------	-----------	-------------	------------

単位：百万台湾ドル

台湾	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)
売上高	3,438	3,700	+262 (+8%)
営業利益	797	848	+51 (+6%)
営業利益率	23%	23%	▲0pt

第1四半期（1月～3月）の売上高伸長率は前年同期比+1%。  
第2四半期（4月～6月）は、新型コロナウイルス感染症の影響により減収の見込。

### ■ウォシュレット販売台数の伸長

2018年度を100とした指数



為替レート	2018年度4Q	2019年度4Q
1台湾ドル	3.66円	3.57円

単位：10億ドン

ベトナム	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)
売上高 【外部顧客売上高】	3,671 【2,057】	4,256 【2,128】	(+16%) (+3%)
営業利益	523	655	+133 (+25%)
営業利益率	14%	15%	+1pt

第1四半期（1月～3月）の売上高伸長率は前年同期比▲9%。  
第2四半期（4月～6月）は、新型コロナウイルス感染症の影響により減収の見込。

為替レート	2018年度4Q	2019年度4Q
1ドン	0.00482円	0.00469円

**台湾は新築市場の回復、ウォシュレット好調等により増収増益。  
ベトナムは新商品効果と輸出増により増収増益。**

# 2019年度決算

## 現地グループ会社の業績（米州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ドル

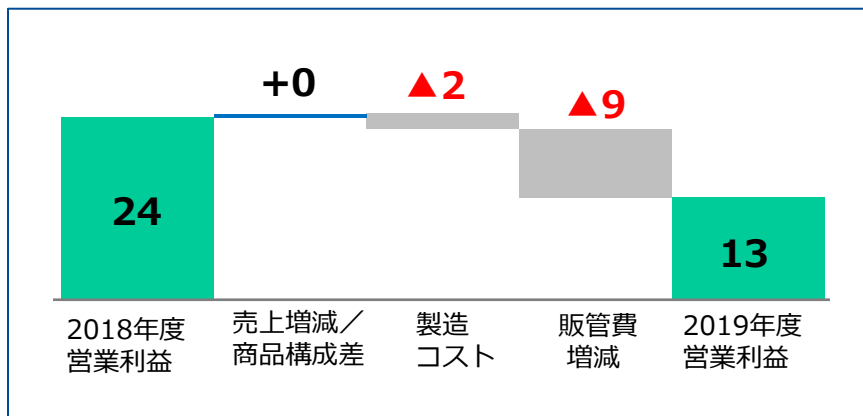
	2018年度	2019年度	前年差	前年比
売上高	284	298	+14	+5%
営業利益	24	13	▲11	▲45%
営業利益率	9%	4%	▲4pt	-

第1四半期（1月～3月）の売上高伸長率は前年同期比+19%。  
ウォシュレット販売台数は対前年2倍強と大幅伸長。  
第2四半期（4月～6月）は、新型コロナウイルス感染症の  
影響により減収の見込。

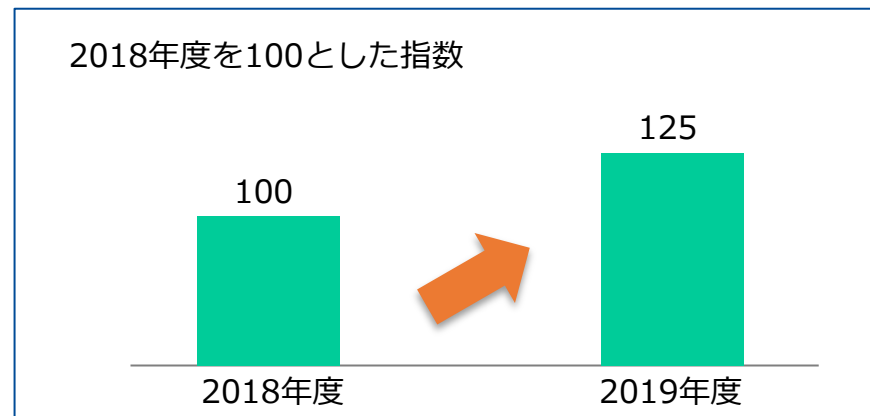
為替レート	2018年度	2019年度
1ドル	112.9円	108.8円

### 営業利益の増減要因

単位：百万ドル



### ウォシュレットの販売台数伸長



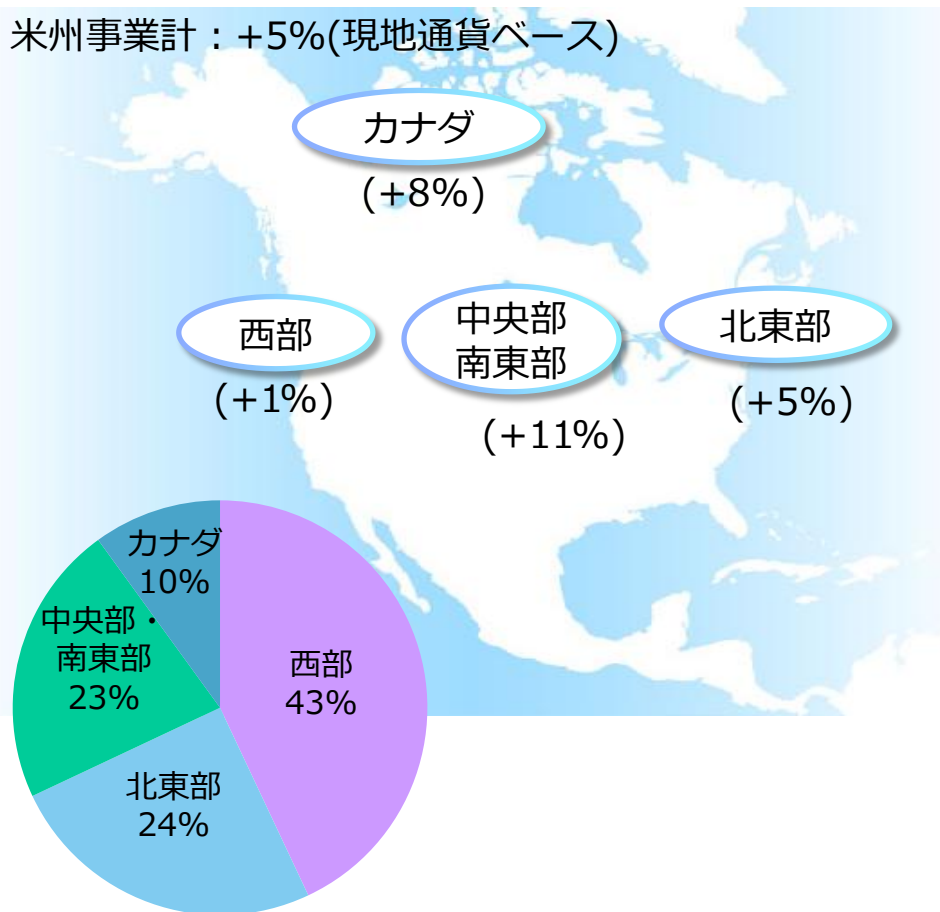
ウォシュレットの好調等により増収も、製造コスト・販促コスト増で減益。

# 2019年度決算

## 現地グループ会社の業績(米州)

### ■ 地域別の売上高伸長率

米州事業計：+5%(現地通貨ベース)

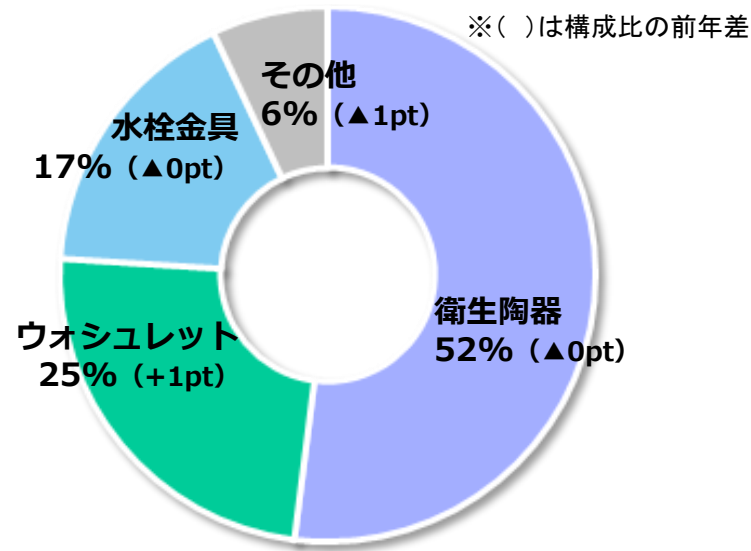


### ■ 地域別の売上高構成比

### ■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+4%
ウォシュレット	+11%
水栓金具	+1%

### ■ 売上高に占める商品構成比



全エリアで増収。ウォシュレットが引き続き伸長。

# 2019年度決算

## 現地グループ会社の業績（欧州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ユーロ

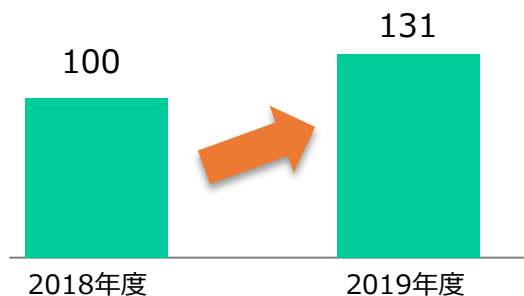
	2018年度	2019年度	前年差	前年比
売上高	26	28	+2	+8%
営業利益	▲7	▲6	+1	-

第1四半期（1月～3月）の売上高伸長率は前年同期比+8%。  
第2四半期（4月～6月）は、新型コロナウイルス感染症の影響により減収の見込。

為替レート	2018年度	2019年度
1ユーロ	128.8円	120.3円

### ■ウォシュレットの販売台数伸長

2018年度を100とした指数



NEOREST AC



WASHLET RX

増収赤字。引き続き流通構築と著名物件採用を推進。

# 2019年度決算

## 新領域事業

### セラミック事業

単位：億円

	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)	為替影響	
				為替 影響額	為替影響除 (前年比)
売上高	222	167	▲55 (▲25%)	▲1	▲53 (▲24%)
営業利益	13	▲1	▲14	▲0	▲14

### 環境建材事業

単位：億円

	2018年度	2019年度	前年差 (前年比)	為替影響	
				為替 影響額	為替影響除 (前年比)
売上高	81	75	▲5 (▲7%)		
営業利益	▲3	▲4	▲1		

セラミック事業は減収赤字も下期に入り回復基調。(下期のみでは黒字)

# 2019年度決算

## 設備投資・減価償却費・研究開発費の推移

	2018年度	2019年度
設備投資額	573億円	605億円
減価償却費	233億円	253億円
研究開発費	211億円	215億円

### ■ 2019年度 設備投資内訳

住設事業（日本）	・ 新商品開発（グローバル商品開発含む） ・ 生産設備関連 等	約164億円
住設事業（海外）	・ 新工場関連 ・ 生産設備関連 等	約421億円
新領域	・ セラミック増設 等	約16億円



# 2019年度決算

## 配当計画

	2018年度	2019年度
中間	45.0円	45.0円
期末	45.0円	45.0円
年間計	90.0円	90.0円
配当性向	47.1%	64.6%

**2019年度の配当は90円。**

**新型コロナウイルス感染症の影響は、事業会社の置かれている地域により大きく異なり、今後も劇的に状況が変化していくことが見込まれます。**

**つきましては2020年度計画は影響が精査できた段階で改めて発表させていただきます。**

このプレゼンテーション資料は、2020年4月30日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

**TOTO**